

国際的な水環境改善に関する取組について

環境省水・大気環境局水環境課

1. 環境省が目指す水環境国際協力

環境省では、日本が段階的に水環境を改善してきた法制度や技術、人材育成等の知見を生かし、「アジア水環境パートナーシップ（WEPA）」の枠組みを通じたアジア各国との連携強化・情報共有の促進と、「アジア水環境改善モデル事業」による民間企業の海外展開の支援等を図り、アジア諸国等の水環境改善に貢献することを目指している。

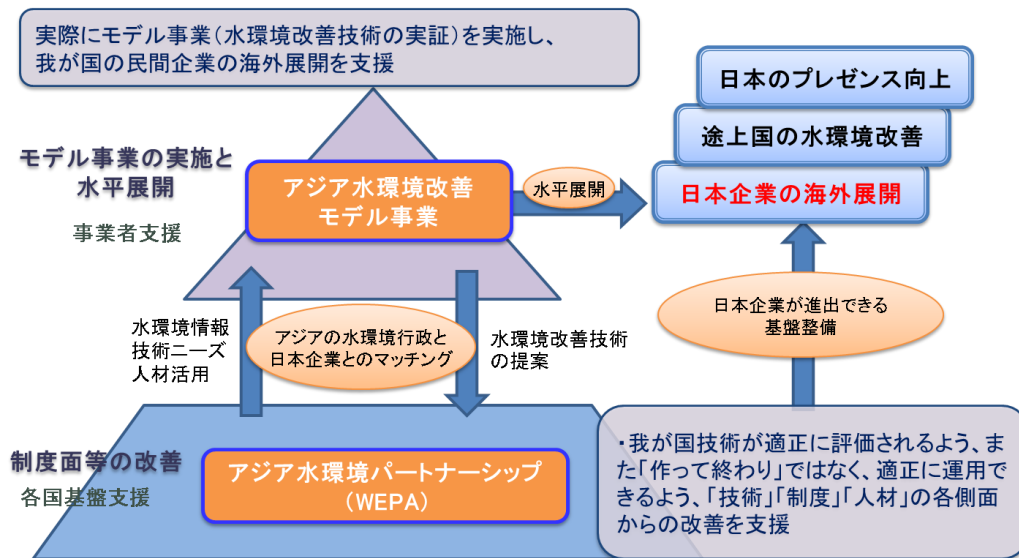


図 環境省が目指す水環境国際協力

2. アジア水環境パートナーシップ（WEPA; Water Environment Partnership in Asia）

WEPA は、第 3 回世界水フォーラム（2003 年）の際に環境省が提唱した取組で、東アジア地域 13 か国（カンボジア、中国、インドネシア、韓国、ラオス、マレーシア、ミャンマー、ネパール、フィリピン、スリランカ、タイ、ベトナム、日本）が参画し、当該地域の法制度の改善・運用や排水管理の強化など、水環境ガバナンスの強化を目的としている。

具体的には、年次会合や国際ワークショップ等を通じてアジア諸国の水環境管理に関する課題の解決に向けて情報共有や意見交換を実施するとともに、各国の要請に基づく水環境改善プログラム（アクションプログラム）支援を実施している。

【アクションプログラム支援】

- ベトナムの養豚場における廃棄物と排水の管理（2014 年～2017 年）
- スリランカにおける産業廃棄物・排水管理（2015 年～2019 年）
- インドネシアアチタルム川の汚染負荷管理（2018 年～継続中）
- カンボジア（アクションプログラム開発中）

また、ワークショップ等に日本の民間企業を招聘し、排水処理技術の提案を実施するとともに、アジア諸国の水環境情報や技術ニーズを共有するなど、政府関係者と民間企業とのマッチング機会の創出を図っている。

今年度も引き続き、アジア諸国の水環境ガバナンスの強化に向けた取組を推進する。



写真 第14回WEPA年次会合（平成31年2月、東京）

3. アジア水環境改善モデル事業

平成23年度から開始したアジア水環境改善モデル事業では、アジア・太平洋諸国の水環境を改善する事業計画を広く公募し、有識者により構成される検討会にて選定されたモデル事業を実施している。選定された事業者は、提案した地域において、実現可能性調査（FS）を通じた事業計画書の作成、事業計画に基づく実証試験、事業効果やビジネスモデルとしての適用性の検証等を行う。これにより、アジア・太平洋諸国において効果的な水環境改善となるビジネスモデルの確立と普及を図っている。

平成30年度までの採択件数は24件で、今年度も公募を実施予定である。

表 実証中のモデル事業一覧

国・都市名	名称【事業者】	年度
ベトナム クアンナム省	高濃度廃液の減量・浄化による水環境改善事業【協和機電工業(株)、長崎県、長崎大学、NPO 法人長崎ベトナム友好協会】	H29：FS H30-H31：実証
インドネシア 東カリマンタン州	既設セブティックタンクを活用した生活排水処理の高度化事業【大栄産業(株)、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)】	H29：FS H30-H31：実証
インドネシア 西ジャワ州	チタルム川流域の繊維工場排水を対象とした排水処理技術（ABR + DHS）実証事業【(株)日水コン、三機工業(株)、長岡技術科学大学】	H30：FS H31：実証
インドネシア 南スマトラ州	ポータブルトイレシステムによるインドネシア国のスラム地区における衛生環境改善事業【(株)LIXIL、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)】	H30：FS H31：実証
フィジー 西部地区	嫌気好気ろ床法（A2F法）を活用した低環境負荷型水処理・資源循環システム普及事業【(株)日立製作所、オリジナル設計(株)、(一社)海外水循環システム協議会、福岡市】	H30：FS H31：実証

4. 第4回アジア・太平洋水サミット

アジア・太平洋地域の首脳級を含むハイレベルが集い、水に関する諸問題について議論する「第4回アジア・太平洋水サミット」が次の通り開催される。

- ・開催日時： 2020年10月19日～20日
- ・開催場所： 熊本市
- ・主催： アジア・太平洋水フォーラム、熊本市

この円滑な実施のため、関係行政機関（外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省）は必要な協力を行うこととしている。